

次の **I** の問題は新課程の歴史総合の問題です。「日本史(新)」の受験者が解答してください。(解答番号は **1** ～ **7**)

I 下の1～7は、16世紀以降のアジア諸地域の繁栄と日本に関する記述である。記述中の2か所の[]内のa・b, c・dから、それぞれ正しいものを選ぶとき、その組み合わせを、次の解答群から選べ。(28点)

<解答群>

① a - c ② a - d ③ b - c ④ b - d

1 1453年にビザンツ帝国を滅ぼしたオスマン帝国は、第10代スルタンの[a. アブデュルハミト2世 b. スレイマン1世]のときに最盛期を迎えた。彼は、西アジア・東地中海の「世界帝国の統治者」的存在として君臨し、国内では官僚制度を整え、イスラーム法に基づく政治をおこなった。オスマン帝国は帝国内に住む異教徒の共同体には自治を認め、ムスリム(イスラーム教徒)との共存をはかった。また、フランスなどのヨーロッパ人には、領内での[c. カピチュレーション d. ジズヤ]と呼ばれる特権を認めた。 **1**

2 16世紀以降、東南アジアにはヨーロッパの勢力が進出し、アジア域内貿易の中継地として栄えた。なかでもタイの[a. アユタヤ朝 b. タウンギー朝]は、国際貿易からの利益を財政的な基盤とする典型的な港市国家であった。また、スペインが拠点をおいたマニラはメキシコのアカプルコと大型帆船であるガレオン船によって結ばれ、ラテンアメリカ(中南米)で産出された[c. 金 d. 銀]の一部はマニラ経由で中国に流入した。 **2**

3 東アジアは、中国の王朝を中心とする朝貢関係によって結ばれてきた。14世紀末に成立した朝鮮王朝や、南北朝を統一した日本の[a. 鎌倉 b. 室町]幕府、15世紀前半に統一政権をつくった琉球王国は、政権の安定と貿易の利益を求めて、明と朝貢関係を結んだ。さらに明は、ムスリムの宦官である[c. 鄭和 d. 宋応星]の率いる大艦隊を東南アジア・インド洋に派遣して、この方面の諸国にも朝貢をうながした。その一方で明は当初、民間の対外交易・海外渡航を全面的に禁止した。

3

4 16世紀に入り「大航海時代」が始まると、東アジアの朝貢体制は動揺した。中国東南部の沿岸では「倭寇」が横行し、明は貿易統制の困難さに直面した。明は民間の海上貿易の禁止を緩和したが、中国の商人による日本との直接貿易は許さなかったため、[a. オランダ人 b. ポルトガル人]が日中間の貿易の担い手となり利益をあげた。貿易の利益や新しい軍事技術の導入によって、中国周辺では強力な軍事政権が登場した。中国東北部では満洲人が新たな王朝を建てて明に対抗し、朝鮮を服属させた。弱体化した明は、農民反乱によって滅亡し、清が[c. 南京 d. 北京]を首都として大帝国を築くこととなった。

4

5 清の前半には、ロシアとネルチンスク条約を結んだ第4代皇帝の[a. 乾隆帝 b. 康熙帝]をはじめとした有能な皇帝が続き、独裁的な権力をふるった。人口の圧倒的部分を占める漢人の住む中国本土では、中央集権的な官僚制度や、官僚を儒学の試験で登用する[c. 科挙 d. 郷挙里選]など、従来の漢人王朝の制度が継承されたが、成人男性に服従の証明として辮髪を強制したり、反清的言論を弾圧したりするなど、きびしい政策もとられた。他方、清の経済は自由放任的であり、海上貿易は順調に発展した。

5

6 徳川家康は、対馬の宗氏を通して朝鮮と[a. 江華島事件 b. 文禄・慶長の役]の講和を実現し、対馬藩に朝鮮との通交・貿易の独占を認めた。また2代将軍秀忠や3代将軍家光はキリスト教の禁止を強化しつつ大名の統制を強めた。まもなく九州でキリスト教信仰にもとづく激しい一揆がおこると、[c. 1543年 d. 1639年]にポルトガル船の来航を禁止した。さらに、平戸にあったオランダ商館を長崎の出島へ移し、幕府が派遣した長崎奉行がこれを監視した。以後、オランダと中国の商船のみが来航した。

6

7 琉球王国は、1609年、徳川家康の許可を受けた薩摩の島津氏により侵攻され、その支配下に置かれた。薩摩藩は毎年、琉球王国に貢納をさせると共に、中国への朝貢貿易も続けさせた。琉球の貿易は薩摩藩や幕府の規制を受け、しだいに日本向けの[a. サツマイモ b. 砂糖]生産に力を注ぐようになった。一方、蝦夷ヶ島と呼ばれた北海道では、1604年、和人の松前氏が、徳川家康から蝦夷ヶ島の支配権を保障された。その実質はアイヌとの交易独占権であり、アイヌから和人へは^{にしん}鱈などの海産物、千島列島産の[c. 狐 d. ラッコ]の毛皮などが、和人からは米・酒・タバコなどが交易された。

7

次の **Ⅱ** の問題は旧課程の日本史の問題です。「日本史(旧)」の受験者が解答してください。(解答番号は **8** ～ **14**)

Ⅱ モンゴル襲来に関する次の文章を読み、下の問い(問1～問7)に答えよ。(28点)

フビライ=ハンは、都を大都に移し、国号を元と定めると、**A** を全面的に服属させ、日本に対してたびたび朝貢を要求してきた。しかし、鎌倉幕府の執権である北条時宗がこれを拒否した。そのため、元は **A** の軍勢も合わせた兵で、1274年、壱岐・対馬を攻め、大挙して九州北部の博多湾に上陸したが、⁽¹⁾幕府はこれを退かせることができた(文永の役)。

1281年、**B** を滅ぼした元がふたたび日本の征服をめざし、大軍をもって九州北部にせまった。しかし、元軍は博多湾岸への上陸をはばまれているあいだに暴風雨で大損害を受け、ふたたび敗退した(弘安の役)。

このモンゴル襲来を機会に、幕府は西国一帯への勢力を強めていき、とくに九州の博多には北条一門を **C** として送り、九州地方の政務や裁判の判決、御家人の指揮に当たらせた。幕府の支配権が全国的に強化されるなかで、北条氏の権力は拡大し得宗の勢力が強大となった。同時に、得宗の家臣である御内人と御家人との対立が激しくなった。⁽²⁾

また、モンゴル襲来は御家人たちに多大な犠牲を払わせたが、幕府は十分な恩賞を与えることができなかつた。経済的に窮乏した御家人たちは、幕府に対する⁽³⁾信頼を失い、不満を募らせることとなった。

問1 **A** ・ **B** に当てはまる語句の組み合わせを、次の①～⑥のうちから選べ。 **8**

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ① A = 高麗 B = 金 | ② A = 高麗 B = 南宋 |
| ③ A = 高麗 B = 渤海 | ④ A = 新羅 B = 金 |
| ⑤ A = 新羅 B = 南宋 | ⑥ A = 新羅 B = 渤海 |

問5 下線部(3)に関連する次の文章で、波線部の誤りはいくつあるか。下の①～⑤のうちから選べ。

12

御家人の窮乏は、貨幣経済の発展や分割相続の繰り返しによる所領の細分化などもその要因の一つであった。また、女性に与えられる財産が少なくなり、本人一代限りでその死後は惣領に返す約束つきの相続が多くなった。幕府は、窮乏する御家人の救済のために、永仁の徳政令を發布し、御家人の所領の質入れや売買の禁止、御家人が関係する金銭の訴訟を受け付けないなどの対策をとった。中小御家人が没落する一方で、武力に訴えて年貢の納入を拒否し、荘園領主に対抗する地頭や非御家人の新興武士たちが生まれ、これらの武士は悪党と呼ばれた。

- ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ なし

問6 モンゴルの動きが東アジアに大きな影響を与えるなか、琉球では各地の首長がグスクを拠点として勢力を広げていった。この首長の呼称を、次の①～④のうちから選べ。

13

- ① 按司 ② 郡司 ③ 国司 ④ 里長

問7 モンゴル襲来の前後から農業の発展が広く見られるようになった。畿内や西国である植物を裏作とする二毛作が普及した。この植物を、次の①～④のうちから選べ。

14

- ① 藍 ② 甘藷 ③ 豆 ④ 麦

次の **Ⅲ** ～ **Ⅴ** の問題は「日本史(新)」および「日本史(旧)」の受験者に共通の問題です。いずれの受験者も解答してください。(解答番号は **15** ～ **33**)

Ⅲ 室町時代の日本の周縁部の動向について次の文章を読み、下の問い(問1～問6)に答えよ。(24点)

南北朝の内乱期、海賊集団が朝鮮半島や中国沿岸を襲い、倭寇⁽¹⁾と呼ばれて恐れられていた。倭寇に悩まされた高麗は日本に倭寇の禁止を求めたが成功しなかった。

琉球では、山北・中山・山南の地方勢力が争っていたが、1429年、**A** の尚巴志が統一し、琉球王国を作り上げた。琉球は明や日本と国交を結ぶとともに海外貿易を盛んにおこない、中国大陸沿岸や朝鮮半島に加え、活動範囲を広げた⁽²⁾。明の海禁政策のもと、東アジア間中継貿易を行ったため、那覇は重要な国際貿易港となり、琉球王国は発展した。

すでに14世紀から畿内と津軽の十三湊とを結ぶ日本海交易が盛んにおこなわれ、**B** などの産物が京都にもたらされた。本州からは蝦夷ヶ島と呼ばれた北海道の南部に進出し、各地の沿岸に港や道南十二館⁽³⁾を中心とする居住地を作った。彼らは和人と呼ばれ、津軽の安藤(安東)氏の支配下に入った。

北海道に居住していたアイヌは、固有の言語と宗教を持ち、13世紀頃から独自の文化を形成していた。漁労・狩猟や交易を生業として和人とも交易をおこなった。和人の進出は次第にアイヌを圧迫したため、アイヌは1457年、**C** を中心に蜂起し、一時は和人居住地のほとんどを攻め落としたが、まもなく蠣崎氏によって制圧された。

問1 この時期、下線部(1)の倭寇の根拠地として正しくないものを、次の①～⑤のうちから選べ。 **15**

- ① 壱岐 ② 対馬 ③ 肥前 ④ 松浦 ⑤ 琉球

問2 A に当てはまる語を、次の①～④のうちから選べ。

16

- ① 山北 ② 山南 ③ 山原 ④ 中山

問3 下線部(2)の拡大した活動範囲として正しくないものを、次の①～④のうちから選べ。

17

- ① インドシナ半島 ② 樺太
③ ジャワ島 ④ スマトラ島

問4 B に当てはまる語句を、次の①～⑤のうちから選べ。

18

- ① 米 ② サケ・コンブ ③ 塩
④ 豚肉 ⑤ 木材

問5 下線部(3)の道南十二館について、C の蜂起時に花沢館とともに攻め落とされなかった館を、次の①～⑤のうちから選べ。

19

- ① 大館 ② 志苔館 ③ 箱館 ④ 中野館 ⑤ 茂別館

問6 C に当てはまる語句を、次の①～④のうちから選べ。

20

- ① オールコック ② コシヤマイン
③ 李成桂 ④ ヴァリニャーノ

IV 天保の改革に関する次の文章を読み、下の問い(問1～問6)に答えよ。(24点)

天保の飢饉がひきがねとなり、全国各地で大規模な騒乱・百姓一揆・打ちこわし⁽¹⁾が続発した。国内問題だけでなく、対外問題も起こっていた。幕府は、日本人漂流民を送還しようとした A の商船 B 号を、異国船打払令にもとづき C 沖で砲撃した。この事件に対して、幕府への批判が相次ぐ事態⁽²⁾となった。

このような事態へ対応するために、老中水野忠邦を中心とし、幕府は天保の改革を行った。国内に対しては、儉約令を出し、風俗の取り締まり⁽³⁾を行ったほか、株仲間解散令、棄捐令、人返しの法⁽⁴⁾などを次々と出した。

また、清国がアヘン戦争に敗北した情報を入手した幕府は、海岸防備の強化⁽⁵⁾、異国船打払令の撤回などの対外政策を打ち出した。

問1 下線部(1)で起こった騒乱・百姓一揆として正しくないものを、次の①～⑤のうちから選べ。 21

- ① 生田万の乱 ② 大塩平八郎の乱 ③ 加茂一揆
④ 郡内騒動 ⑤ 由井正雪の乱

問2 下線部(2)で幕府を批判した人物を、次の①～④のうちから選べ。 22

- ① 海保青陵 ② 近藤重蔵 ③ 高野長英 ④ 平田篤胤

問3 A ～ C に当てはまる語句を、次の①～⑥のうちから選べ。

23

- ① A = アメリカ B = フェートン C = 長崎
- ② A = アメリカ B = モリソン C = 浦賀
- ③ A = イギリス B = ゴローウニン C = 浦賀
- ④ A = イギリス B = フェートン C = 長崎
- ⑤ A = ロシア B = ゴローウニン C = 箱館
- ⑥ A = ロシア B = モリソン C = 箱館

問4 下線部(3)で処罰された人物と、その代表的な作品の組み合わせを、次の①～⑥のうちから選べ。

24

- ① 恋川春町 - 『浮世風呂』
- ② 恋川春町 - 『金々先生栄花夢』
- ③ 式亭三馬 - 『浮世風呂』
- ④ 式亭三馬 - 『修紫田舎源氏』
- ⑤ 柳亭種彦 - 『金々先生栄花夢』
- ⑥ 柳亭種彦 - 『修紫田舎源氏』

問5 下線部(4)の人返しの法など、当時の状況や法令の説明として正しくないものを、次の①～④のうちから選べ。

25

- ① 江戸・大坂などの都市では、多くの困窮した周辺農村の者が流入し、裏店(町屋敷の裏にある長屋)などを借りて住むようになっていた。
- ② 人返しの法では、江戸で正業をもたない者に資金を与えて農村に帰ることを奨励した。
- ③ 人返しの法では、農村から都市への出稼ぎを禁じ、都市で困窮する人々を農村に帰らせて、農村の人口回復を目指した。
- ④ 人返しの法で、江戸から追われた無宿人・浪人などが入り込んできたため、江戸周辺農村の治安が悪化した。

問6 下線部(5)の、この時期に幕府がとった対外政策の具体的な内容として正しくないものを、次の①～④のうちから選べ。

26

- ① 海岸防備にあたって大砲による軍事力強化を目指し、江川太郎左衛門に命じて伊豆韮山に反射炉を築かせた。
- ② 異国船には食料や燃料を与える薪水給与令を出した。
- ③ 日本の砲術を洋式化する必要性を説いた長崎町年寄の高島秋帆を招き、江戸近郊で西洋式砲術の演習を行わせた。
- ④ ロシアへの防備強化を目的として蝦夷地を直轄化した。

V 自由民権運動に関する次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～問6)に答えよ。
(24点)

A 土佐藩出身の **ア** らは愛国公党を設立するとともに、民撰議院設立の建白書を左院に提出した。これをきっかけに自由民権論が高まった。政府は1875(明治8)年4月に漸次立憲政体樹立の詔を出し、翌年から元老院において憲法草案の起草が開始された。この時の草案は廃案となったが、1886(明治19)年頃から政府により再び進められ、枢密院での審議を経て1889(明治22)年⁽¹⁾には大日本帝国憲法が制定された。

B 1880(明治13)年、各地の政社が参加して国会期成同盟が結成され、国会開設の請願書を太政官や元老院に提出しようとした。政府はこれを認めず、同年4月に **イ** を定めて政社の活動を制限した。国会期成同盟は大会を開催したが運動方針をまとめることができず、翌年10月には大会参加者の一部を中心として自由党が結成された。⁽²⁾

C 1881(明治14)年に大蔵卿となった **ウ** による緊縮・デフレ政策のもと、全国的に不況が深刻化した。米・繭の値下がりにより農村は困窮し、重税などへの反発から反政府運動が各地で発生した。⁽³⁾

問1 ア の人物の説明として適切でないものを、次の①～④のうちから選べ。

27

- ① イギリス流の議院内閣制の早期導入を主張し、右大臣の岩倉具視や伊藤博文と激しく対立した。
- ② 自由民権運動の高まりを受けて郷里に帰り、政治団体である立志社を組織した。
- ③ 同藩出身の後藤象二郎らとともに発足当初の明治新政府の要職についた。
- ④ 朝鮮との国交樹立に際して、日本の態度に不満をもち正式の交渉に応じなかった朝鮮に対し征韓論を唱えた。

問2 下線部(1)の大日本帝国憲法に関する説明として適切でないものを、次の①～⑤のうちから選べ。

28

- ① 国民は「臣民」とされ、信教・言論・結社などの自由が明文化された。
- ② 帝国議会はそれぞれ対等の権限をもつ衆議院と貴族院が置かれた。
- ③ 天皇は、陸海軍の統帥や条約の締結など議会の関与できない権限をもつとされた。
- ④ ドイツ人顧問モッセの助言を得て、山県有朋を中心に起草がなされた。
- ⑤ 立法・行政・司法の三権が分立し、それぞれが天皇を補佐することとされた。

問3 イ に当てはまる語句を、次の①～⑤のうちから選べ。

29

- ① 讒謗律 ② 集会条例 ③ 治安維持法
- ④ 治安警察法 ⑤ 保安条例

問4 下線部(2)の自由党の他に1880年代に結成された政党の組み合わせを、次の①～⑥のうちから選べ。 30

- ① 立憲改進黨 - 憲政党 ④ 立憲政友会 - 憲政党
- ② 立憲改進黨 - 立憲帝政党 ⑤ 立憲政友会 - 立憲帝政党
- ③ 立憲改進黨 - 立憲民政党 ⑥ 立憲政友会 - 立憲民政党

問5 ウ に当てはまる人物を、次の①～⑤のうちから選べ。 31

- ① 井上馨 ② 井上毅 ③ 松方正義
- ④ 陸奥宗光 ⑤ 森有礼

問6 下線部(3)の反政府運動の事例として正しくないものを、次の①～⑦のうちから2つ選べ。解答の順序は問わないが両方とも正解の時のみ点が与えられる。 32 , 33

- ① 飯田事件 ② 大津事件 ③ 加波山事件 ④ 佐賀の乱
- ⑤ 静岡事件 ⑥ 秩父事件 ⑦ 福島事件